

武井電機工業株式会社

佐賀県三養基郡みやき町

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

レーザー加工技術による「精密制御機械技術」を武器に、タッチパネルディスプレイ等の加工機の事業化を拡大

- 機能性フィルムの切断において、業界の常識を覆す加工品質と処理能力を両立したレーザー加工機を開発
- 地域に密着した地元雇用とI、Uターンによる大手企業出身の定年退職者雇用で技術力と人材育成を向上
- 競争力が高い機能性フィルムをターゲットにした九州の数少ない企業。世界的な競争力を有する

企業基本情報

所在地	佐賀県三養基郡みやき町江口2617
電話/FAX	0942-89-4151/0942-89-4159
URL	http://www.takei-ele.co.jp/
代表者	代表取締役社長 武井 邦雄
設立	1966年
資本金	9,830万円
従業員数	127人



会社概要

創業以来培ってきたエレクトロニクス関連の制御技術を高度化し、搬送や画像などの製造装置、さらに半導体やFPD、太陽電池などの機械装置やレーザー加工装置など先端製造ラインのメイン装置の開発に取り組んでいる。具体的には、レーザー加工装置、FAメカトロ装置、自動化設備、半導体、太陽電池、FPD生産設備、システム制御（配電盤・制御盤）の製品化、販売を実施している。

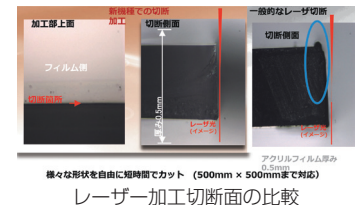


会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

これまでのレーザー加工機の常識を覆す加工時間、品質を実現

近年、スマートフォンの爆発的普及により、タッチパネルディスプレイの需要が急増している。これにより、機能性フィルムの種類が増加し、高度化が進み切断の難易度が高まっている。従来のレーザー加工機では、加工品質と処理能力とがトレードオフする課題があった。そこで、産学官の開発を行い、業界最速レベルの処理能力と高い加工品質との両立に成功したことで、国内外の企業から注目を集めている。



様々な形状を自由に短時間でカット（500mm×500mmまで対応）
レーザー加工切断面の比較

障害者・高齢者を含む幅広い中途採用と社員サポート体制の構築

障害者・高齢者雇用促進のため、ハローワークとの情報交換や連携によって積極的な障害者雇用に努めており、定年後の再雇用はもとより60歳以上の技術職中途採用も行っている。また、2年前より主婦の短時間パートを導入し、学校行事・子供の病気などに柔軟に対応した。さらに、産業カウンセラー及びキャリアコンサルタントを社内配置（有資格者を常駐）し、社員のメンタルヘルスサポートや新卒・中途採用者へのキャリア形成支援を行い、定着率向上・離職率低減を図っている。



工場内の風景

日本の競争力が高い機能性フィルムをターゲットとした製品展開

様々な製品において日本のシェアが海外のメーカーに奪われる中、有機高分子フィルムについては、高い技術力が故に今もなお日本の化学メーカーが世界的にも高い競争力を維持し続けている。

そういった日本の化学メーカーが製造するディスプレイ用光学フィルムとの親和性を主眼において製品化を目指した。これにより国内のみならず、世界的にも品質の面で優位性のある製品として高い競争力のもと営業展開を行うことができています。



レーザー加工テストルーム